



いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより 令和元年5月15日 第3号

広島・関西への修学旅行

平和の尊さを学び仲間との絆を深める！

3年生は、安達峰一郎博士の平和を愛する心を受け継ぎ、学校目標の1つ「いのち」の教育の一環として、1年生の時から広島への修学旅行を計画し準備を進めてきました。そして、5月8日(水)から『郷鳴(きょうめい)』をスローガンとして、2泊3日の修学旅行を実施しました。



出発式では、この修学旅行の隊長である教頭の方から、「集団行動による学年集団の成長」と「現在、自分が置かれている時代と環境に感謝し、将来を考えるきっかけにする」の二つの目的について話があり、それぞれが成長する研修旅行にしようとの話があり出発しました。

1日目は広島。天気にも恵まれ、広島駅に元気に着いた後、原爆ドーム前の元安川の辺で、被爆ピアノで本田咲季さんが伴奏し、安達梨帆さんの指揮のもと、大地讃頌を合唱しました。3年生の想いの込められた合唱が、周りにいた多くの観光客や市民の方々、そして私たちの胸を熱くし、平和への祈りが全員の人に深く刻まれた瞬間でした。続いて、「原爆の子の像」の前では全員で黙祷し、持参した折り鶴を捧げました。そして、平和資料記念館へ移動し被爆経験者のパク・ナムジュさんから、その時の悲惨で残酷な現状を伺い、資料館でその資料や映像を見学しました。講話の中で、「戦争に正義はない」「勝っても負けても悲しみだけが残るのが戦争」「今の平和は、どれだけ沢山の命と悲しみと苦しさの上に築かれたものであるかを知って欲しい」そして、「今の日本の平和をしっかりと守って欲しい」の深く重い言葉は、生徒の心にも強く刻み込まれたことでしょう。さらには、平和の基盤は私たち人間の言動と考えによるものであり、同じ人間同士の関係によるものであることを、考えるきっかけにして欲しいと思います。

2日目は宮島での研修を行いました。厳肅な巖島神社では、クラス毎ガイドさんから島や神社のことについて詳しく説明を聞くことができました。その後、楽しみにしていたお土産購入の時間。家族へお守りやもみじまんじゅう等を沢山購入していました。中には、御朱印帳を持参してきた人もいました。午後は、神戸市内へ移動し班別の自主研修。自分達で計画し調べた経路を元に、班員が協力し各施設を回りました。心配していた移動トラブルや事故等もなく、全部の班が時間通り宿泊ホテルに到着できたことは、班長を中心とした集団力や班員それぞれの協調性の成長がうかがえました。「山辺中生生にできないことはない。決めたことは、やる。できる。」と、この活動を通して確信したところです。

3日目はクラス別研修として、巨大なジンベイザメのいる「海遊館」や動物園と水族館が融合した「ニフレル」等の施設を見学しました。3日間の修学旅行を通し、子どもたちは多くの事を体感し、学び、仲間との絆を深めたようです。そして、沢山の楽しい思い出を作ることができました。この貴重な体験をこれからの学校生活に生かし、平和について考え「学び」を深めてくれることを期待しています。ご理解とご協力をいただきました保護者の皆様に感謝を申し上げます。

2年：わっくWorkやまのべ & 1年：宿泊研修



3年生が修学旅行に出かけている間に合わせ、1～2年生も大きな学年行事に取り組みました。2年生は、5月8日からの3日間、今年で17回目を迎える「わっくWorkやまのべ」の社会体験学習を実施しました。町内の企業や商店など44事業所のご協力をいただき実施した今回の体験学習は、多くのことを学ぶ貴重な経験となりました。お忙しい中ご協力をいただきました皆様に感謝を申し上げます。



1年生は、5月9日から朝日少年自然の家にて、1泊2日の宿泊研修を実施しました。入学して1ヶ月ほどの仲間と一緒に2日間を過ごし、絆を深めながらクラスや学年のまとまりを高める学年行事となりました。

お知らせ：6月6日に「わっくWorkやまのべ」に関する生徒発表会を開催します！多数ご来校ください。